

## 立川市はワーク・ライフ・バランスを 推進する事業所を応援しています!

### 人材を活かし、戦力としていくために、 企業にはワーク・ライフ・バランスが必要です

ニーズの多様化や経済のグローバル化が進むなど、社会経済の情勢変化のスピードは速く、変化に機敏に対応する力がないと、企業は生き残っていきません。

少子高齢化の影響で、中長期的に見ると若年労働者が不足し、労働人口は確実に減少します。働きながら育児をする人、親の介護を担う人も多くなっています。また、共働き家庭が増え、家庭や地域での役割を担いながら働く人が増加しています。

企業が変化への適応力を蓄え、持続的に成長していくためには、女性・高齢者を含め多様な人材を積極的に活かし、戦力としていくことが必要です。その手段として有効なのが、ワーク・ライフ・バランスを基本に据えた企業戦略なのです。

#### 現在までの認定事業所 (認定順)

- ・富士ゼロックス多摩株式会社
- ・医療法人財団立川中央病院
- ・国家公務員共済組合連合会立川病院
- ・株式会社アドックインターナショナル
- ・社会医療法人社団健生会立川相互病院
- ・株式会社日本政策金融公庫 立川支店
- ・イケア・ジャパン株式会社 イケア立川
- ・希望法律事務所
- ・株式会社いなげや
- ・東京西サトー製品販売株式会社

#### ワーク・ライフ・バランスの取り組みの具体例

- 育児・介護休業や看護・介護休暇等の「休暇・休業制度」の整備
- 残業抑制策や短時間勤務制度、フレックスタイム制度等の「働く時間の見直し」
- 在宅勤務、サテライト・オフィス等の「働く場所の見直し」
- 結婚・出産で退職した女性の再雇用やパート等から正社員への転換制度等の「働くスタイルを選択できる制度の整備」
- 結婚・出産等のライフイベントを考慮に入れたキャリア目標設定、研修・情報提供・ロールモデルの提示、メンター制度等の「キャリア・ライフプランニング支援」
- 保育サービス費用補助・事業所内保育所整備、介護関連費用補助、自己啓発費用補助等の「経済的支援」 など



### 募集

#### ワーク・ライフ・バランスを推進する事業所を募集しています!

ワーク・ライフ・バランス推進認定事業所には認定証を交付し、取り組みについて市ホームページや市広報等で広く紹介しています。「仕事と家庭の両立を推進し、男女共に働きやすい職場」を目指す事業所の皆さん、ぜひご応募ください。

応募方法やお問い合わせ 立川市総合政策部男女平等参画課 TEL:042-528-6801



立川市総合政策部男女平等参画課  
〒190-0012 東京都立川市曙町 2-36-2 立川市女性総合センター内  
TEL:042-528-6801 FAX:042-528-6805 <http://www.city.tachikawa.lg.jp>

平成27年度  
立川市ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定

# WORK-LIFE BALANCE “TACHIKAWA” MODEL

#### 認定事業所の主な取り組み



立川市では、事業所におけるワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進を図ることを目的とした「ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定」を行っています。平成27年度は、仕事と家庭の両立や男女共に働きやすい職場環境づくりの促進に努めている2つの事業所を認定しました。認定事業所の主な取り組みをご紹介します。

立川市



## 株式会社 テイルwindシステム

### 家庭を守れない人間に、仕事はできない 互いに助け合い、気持ち良く働ける職場を目指す

テイルwindシステムが目指すのは、「家庭を守れない人間に、仕事はできない」。IT業界のサラリーマンとして、過酷な労働を体験した迎 浩一朗社長が、「社員と家族を大切にする会社を目指そう」と一念発起し、平成16年に独立起業した。

「女性が働きやすい会社は、男性にも働きやすい会社です。育児や介護などで働く時間に制約があっても、気持ち良く働き続けることができる職場が理想であると考えています。制度面の充実はもちろんのこと、周囲の理解はもっと必要だと考え、社員が家族を優先でき

るよう、周りがサポートし、魅力ある職場づくりに取り組んでいます」と経営企画部部長の三浦 笑さんは語る。

ほぼ2か月に1回の割合で開催しているイベントでは、社員のみならずそのご家族も参加する。また、夏休み期間に行われるファミリーデーではご家族を会社へ招待し、職場の雰囲気や仕事を体感していただくことで仕事に対する理解を得る。「家庭内での仕事への理解が深まるだけでなく、社員同士のコミュニケーションが高まり、仕事への意欲向上にもつながっています」と三浦部長はその相乗効果に手応えを感じているという。

「人材」育成を課題に掲げ、社員の自己啓発を積極的に支援しているのも同社の特徴だ。「異業



ファミリーデー



家族行事でコミュニケーションを育む



要望は架け橋BOXに採用される案件も多い



スキルアップのための勉強会を開催

本社受付に飾られた家族イベントの写真

#### 主な取り組み内容

- ・育児休暇、短時間勤務などの実施
- ・ファミリーデー（社員の家族の職場訪問）の実施
- ・情報処理、VBA、秘書検定など各種勉強会の実施
- ・パースデーホリデー制度による有給休暇の取得促進
- ・架け橋BOXを使った要望の吸い上げ
- ・夏旅行、秋の大運動会など家族参加イベントの実施
- ・産業医や社労士との面談

種からの転職が8割を占めるため、個々のスキルアップを目的に、情報処理、プログラミング、秘書検定などさまざまな勉強会を自主的に行っています。資格を取得することで、仕事に対するモチベーションも高まっています」（三浦部長）。

迎社長は、「日々改善していく、変化していくことが重要です。創業期には適したトップダウン型の経営スタイルをいつまでも続けることはできません。今後求められるのは、社員一人ひとりが自立自走する組織への生まれ変わりです。自分たちの発想で会社を良くするためにはどうか。性別や年齢に関係なくやる気のある人々を応援し、社員が誇りを持って働ける組織づくりを進めていきたいですね」と、今後の取り組みに意欲を見せた。



経営企画部  
部長  
三浦 笑さん

#### 娘の小学校の役員に

娘の小学校のPTA役員を打診され悩んでいたところ、社長から「引き受けなくてどうする。それこそワーク・ライフ・バランスじゃないか」と背中を押されました。育児のために残業はできなくても、限られた時間の中で成果を出していれば評価する。そんな期待に応えたいと思います。

#### 株式会社テイルwindシステム

東京都立川市曙町 2-8-18 東京建物ファールレ立川ビル4F

事業概要 高い技術力でお客様の立場に立ったシステムを提案するITのプロ集団。ソフトウェア開発、システム運用・保守、コンサルティング等、総合的にサポート。

従業員数 148名（男性101名、女性47名）

たましんは、信金業界における女性活用のリードオフマンだ。「30年以上も前から女性職員の活用に着目。年金に関する相談を受ける女性の渉外担当者・シニアアドバイザーの活躍で、年金の振込件数は信金業界ではトップクラスを維持しています。そういうベースが現在につながっています」と人事部部長の高橋尚子さんは語る。現在、4割を占める女性職員。結婚や育児といった女性のライフイベントと仕事の両立という課題解決に、さまざまな施策を導入している。実は、高橋部長はたましんの育



人事部 鈴木 悠夏さん

児休業取得第一号。そんな背景もあり、施策には女性視点の配慮が行き届いている。

そのひとつがプレママセミナーだ。「育児休業取得予定者を対象に、制度の内容、手続き、復職後の大変さ、復職後のキャリアの積み重ねについて伝えていきます。キャリアをあきらめないで復職してほしいという趣旨で企画しました」と高橋部長。第1回のセミナーには全店から15名が参加。中には今後働くママになりたい職員もいて、関心の高さをうかがわせた。これに並行して、育児休業者の職場復帰サポートシステム「たましんプレミアム・キッズ」を整備。担当の鈴木悠夏さんは、「人事部と育児休業者間の連絡、金庫情報の発信、育休者同士の情報交換などが可能なポータルサイトです。休業中の不安払拭に効果を発揮しています」と自信をのぞかせる。キャリアアップ支援施策「ポジティブアクション研修」も注目だ。

当初は女性の課長、係長を対象にしたマネジメント研修だったが、2015年は対象を最初の役職である主任に就任した女性職員に変更。仕事と育児の両立を目指す若い層の成長に期待を寄せる。

男女ともに長期的な視点で自分自身のキャリアビジョンを描き、それに向かって努力し続けることのできる職場づくりが必要と考えている。「お客さまの幸せづくりと職員の幸せづくり、どちらもたましんの大切な仕事です。これからもワーク・ライフ・バランスを視野に入れた制度や施策の整備に努めていきます」と高橋部長は力強く語った。



人事部部長  
高橋 尚子さん

#### 主な取り組み内容

- ・ポータルサイト「たましんプレミアム・キッズ」で育児休業者の職場復帰をサポート
- ・ポータルサイト「たましんプレミアム・ビズ」で福利厚生制度を紹介
- ・プレママセミナーで育児休業取得予定者の職場復帰をサポート
- ・所属長との育休後職場復帰面談により育児環境を共有
- ・女性職員の活躍促進を目的とするポジティブアクション研修
- ・WEB上で匿名の「職場風土アンケート」を実施



初のプレママセミナー。先輩職員の体験談が好評を博した



女性職員の活躍の場を広げるポジティブアクション研修

#### 社員の声 VOICE

#### 育休中の不安を解消

プレママセミナーに参加したことで、復職不安や両立不安が解消。現在育児中の先輩職員の体験談から、復職後の自分の働き方をイメージすることができました。育児休業や育児を自分の成長の機会ととらえ、私もキャリアアップを目指したいと思います。

#### 自分を見つめ直す機会に

キャリアについて「このままでいいのだろうか」と悩んでいましたが、ポジティブアクション研修に参加したことで、不安に思うことは当たり前であり、何も疑問に思わない状態に陥らないことが大切であると学びました。今までの考え方やものごとの捉え方が変化し、仕事と私生活をより良いものにしていきたく強く感じています。

## 多摩信用金庫

### 信金業界における女性活用のリードオフマン 研修やポータルサイトで両立支援を推進



育児休業中も自宅でアクセスできるポータルサイト「たましんプレミアム・キッズ」と「たましんプレミアム・ビズ」を開発

#### 多摩信用金庫

東京都立川市曙町 2-8-28

事業概要 その地域に暮らす人々や企業が、互いに支え合い助け合うことを目的とする協同組織金融機関。多摩地域を基盤に信用金庫法に基づく金融業務全般を行う。

職員数 1,988名（男性1,174名、女性814名）